



平成21年6月5日発行第102号

(財)文京アカデミー

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21
(文京シビックセンター2階)

TEL.03-5803-1102

FAX.03-5800-2230

広告掲載のお問合せは上記まで

文京アカデミーSquareは
財団ホームページでもご覧いただけます
<http://www.b-academy.jp/>
(財団広報紙・情報紙をクリック)

発行部数/100,000部
文京区内新聞折込



戦前から
女性の社会進出を
支えてきた、
貴重な教育史料が
見られる

東洋学園大学 東洋学園史料室

東洋学園大学は、その前身である明華女子歯科医学講習所の設立から数えると、92年もの歴史があります。公式の創立年である大正15年に東洋女子歯科医学専門学校に、昭和25年に東洋女子短期大学(英語科)に、そして平成4年に大学を設置し、同18年に完全共学四年制へと移行していききました。戦前戦後と時代が激しく変化する中で、その時々々のニーズに対応するための変革でした。そうした変革の歴史を持つ学校の姿を、学生や卒業生をはじめとする学校関係者はもちろん、より広く多くの方に認知していただくために開かれたのが、東洋学園史料室です。

ここでは、歯科医専当時に使われていた足踏式エンジン(回転切削具)や治療用器具を収納するデンタルボックス、学生自筆のノートなど
の実物展示があり、女性の自立を目指して
歯科医学を学んだ学生たちの



学園のシンボル フェニックス・モザイク

本郷キャンパス1号館西側壁面のフェニックス・モザイク「岩間がくれの蓮花」は、昭和36年に東洋女子短期大学の10周年記念として作られたもの。日本を代表する建築家のひとり、今井兼次氏(明治28年～昭和62年)がワーズワースの詩をイメージし、制作指導に当たりました。平成20年には文の京都市景観賞「景観創造賞」を受賞し、赤坂坂通りのランドマークとしても親しまれています。モザイクには、学生など学校関係者が持ち寄った瀬戸欠けも多く使用されています。フェニックス・モザイクは、今井氏の5連作からなる作品群と考えられており、現在は長崎の日本26聖人殉教記念館、皇居の桃華楽堂などが現存しています。

篤い想いを垣間見ることができ
ます。また、創立時や戦後などに同地に建てられた歴代の校舎の写真は、同学の歴史の深さを感じさせてくれます。

この地はかつて、本郷区元町と呼ばれた場所。当時の地
図から、我が街の歴史を辿る
貴重な体験もできます。複雑
な経緯を持つ東洋学園大学
ですが、それをわかりやすく解
説してくれるのが学芸員。各
時代の展示物のみならず、学
芸員の存在も、この史料室の
大きな魅力となっています。

大正から昭和初期にかけての 歯科医療機器

- ①足踏式レーズ(歯科用研磨器)
- ②回転卓子
- ③足踏式ケーブルエンジン(歯科用旋盤)
- ④デンタルボックス
(治療器具を収納し、持ち運びできるもの)

東郷平八郎元帥の
総義歯を公開予定です。
(公開開始はホームページ等で告知します)

